

「上重原町地震に強いまちづくり勉強会」の活動経緯



第1回 平成20年6月14日(土)

テーマ：この勉強会について

地震に対する備えに関するビデオを上映した後、勉強会を開催する趣旨や目的、上重原町の状況、勉強会のスケジュールについての確認を行いました。



第2回 平成20年7月20日(日)

テーマ：まちの状況を確認し、地震防災上の問題点をまとめる

4つの班に分かれて町内を歩き、上重原町の地震防災上の問題点を話し合いました。

住宅の耐震化に関するアンケート 平成20年7月

上重原町内会の区域にお住まいの方を対象に、アンケートを行い、842件の回答をいただきました。ありがとうございました。



第3回 平成20年9月20日(土)

テーマ：「地震に強いまち」にするために何をすべきかを考える

第2回の結果と、アンケートの結果などをもとに、上重原町にふさわしい「地震に強いまち」に向けた方策・取り組みは何かを話し合いました。



第4回 平成20年11月8日(土)

地震に強いまちづくり講演会

勉強会の中間報告と、アンケートの結果の報告を行うとともに、名古屋大学の福和伸夫教授による講演会を開催しました。

耐震診断ローラー作戦 平成20年11月23日(日)

町内の152件のお宅を訪問し、耐震診断の受診の案内を行いました。当日を含め、11月から12月の間に町内で27件の申込がありました。



第5回 平成21年1月24日(土)

テーマ：これからの「地震に強いまちづくり」の作戦を立てる

「地震に強いまちづくり」に向けて、上重原町で今後取り組んでいくことを具体化させるための話し合いを行いました。

平成21年3月

発行 知立市役所 建設部建築課 Tel: 0566-83-1111 (内線 291)

協力 上重原町内会 事務所：上重原町公民館 Tel: 0566-82-2552

上重原町防災協議会

上重原町 地震に強いまちづくり勉強会 ニュース

昨年の6月から、上重原町内会、防災協議会および知立市が協力して「上重原町地震に強いまちづくり勉強会」を開催してきました(勉強会の活動経緯は4ページ目をご覧ください)。勉強会ではとくに、住宅の耐震化がどうしたら進むのかを中心に話し合いを行ってきました。この勉強会を通じて、今年の春以降に上重原町で取り組んでいくことがまとまりましたので、お知らせします。



(第5回勉強会の様子)

「地震に強いまちづくり」に向けて行うこと

※それぞれを具体化するなかで、内容や時期などが変更になることもあります

項目	内容や時期など
避難所のマニュアルづくり	今年の4月から、防災協議会で協議をし、災害が発生したときの避難所の運営などに関するマニュアルを作成する
救命救急の講習会	今年の8月までの間の土日に、上重原町公民館で、消防署職員等の協力を得ながら、町内会役員や防災協議会メンバーを対象に、AED(自動体外除細動器)の使用法をはじめとした救命救急の講習会を開催する
耐震診断の受診促進	今年の12月までの間に、昨年11月に耐震診断ローラー作戦を行ったときに留守だったお宅を対象に、改めてローラー作戦を実施し、耐震診断の受診を促進する
耐震化の啓発	町内の初寄り合いなどの機会に、あるいは防災訓練の一環として、耐震化の啓発を行う

このほか、起震車を使った地震の揺れの体験会や、地震が起こったときに地域の専門業者などの方々の協力が得られるようにするための緊急時の協力体制づくりにも、早ければ今年のうちに取り組みたいと考えています。

また、防災備品の整備は随時・継続して取り組む必要がありますし、町としての防災訓練の企画・実施などについても検討していきます。

防災協議会としては、防災協議会のメンバーの拡大をしていきたいと考えています。ご関心のある方は、防災協議会(神谷 Tel: 81-0467)までご連絡ください。

今後も上重原町内会、防災協議会および知立市は、力を合わせて地域の「地震に強いまちづくり」を進めていきます。

上重原町を地震に強いまちにしていくため、皆様のご協力をお願いします。

アンケート結果のご報告

「住宅の耐震化に関するアンケート」

昨年7月に町内にお住まいの世帯を対象として、知立市が実施したこのアンケートでは、842件のご回答をいただきました。ここでは、その結果の概要をご報告します。

<全体の集計から（集計対象：842件）>

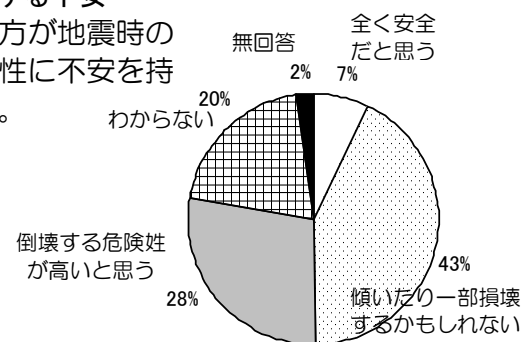
項目	結果の概要
無料耐震診断制度の認知度	知立市が行っている無料耐震診断制度を「知っている」との回答は全体の73%でした。無料耐震診断制度については全体の3/4程度の方に認知されており、古い住宅にお住まいの方ほど認知度が高いという傾向があります。
耐震改修補助制度の認知度	知立市が行っている耐震改修補助制度を「知っている」との回答は全体の49%でした。耐震改修補助制度については全体の半数程度の方に認知されており、古い住宅にお住まいの方ほど認知度が高いという傾向があります。
家具の転倒防止等対策の実施	「家具の固定をしている」や「寝室に家具は置かないようにしている」として、何らかの家具の対策を行っているのは全体の57%でした。建築年代で大きな差があるとはいえませんが、若干、古い住宅ほど家具の対策が進んでいない傾向があります。
自主防災会等の活動の認知度	上重原町自主防災会や上重原町防災協議会について「知っている」との回答は全体の38%（「活動内容を含めて知っている」は7%）でした。地域の防災活動は40%程度の方に認知されており、古い住宅にお住まいの方ほど認知度が高いという傾向があります。

<昭和55年以前の建築についての集計から（集計対象：260件）>

これ以降は、耐震化の主な対象となる古い耐震基準で建てられた住宅の状況として、建築時期が「昭和56年以降」とした方の回答を除いた場合の集計から、主要なことをご報告します。

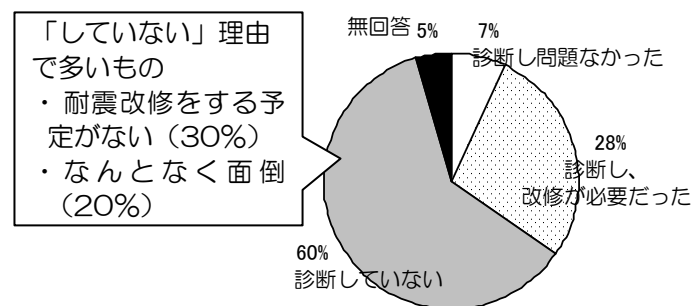
■地震に対する不安

約7割の方が地震時の住宅の安全性に不安を持っています。



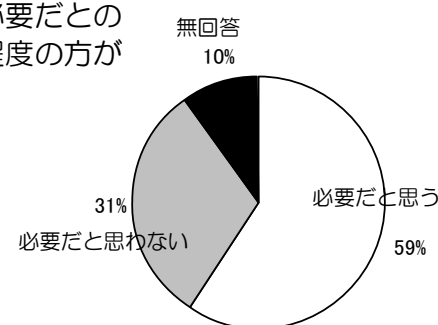
■無料耐震診断の実施

「無料耐震診断をしていない」のは約6割です。



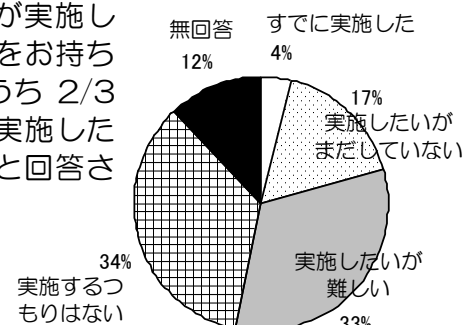
■耐震改修の必要性

耐震改修が必要だとの認識は、6割程度の方がお持ちです。



■耐震改修の実施意向

約半数の方が実施したいとの意向をお持ちですが、そのうち2/3程度の方が「実施したいが難しい」と回答されています。



■耐震改修をしていない理由（「現在のところ耐震改修をしていない」と回答された方）

順位	回答	割合
1	改修費用が高く負担できない	31%
2	改修しても効果があるか心配である	30%
3	近いうちに建て替えまたは住み替えるので、今は費用をかけたくない	15%
4	高齢のため面倒である	13%
5	もう高齢なので耐震改修を実施しても長い間住めないからもったいない	12%
6	他のリフォームをしたばかりで、今は費用をかけたくない	10%
7	地震が起きるかどうかもわからない	8%
8	近い将来実施する予定	7%
	何をしたらいいのかわからない	7%
	改修の際に移転が必要になるなど、生活環境が変わるのが不安	7%
11	誰に相談していいのかわからない	5%
12	家の中に他人を入れたくない	4%

※複数回答 「その他」の回答を除く

■耐震改修をするために望む支援

順位	回答	割合
1	補助金の増額や融資制度を充実	36%
2	最低限の費用でできる方法を教える	35%
3	信頼できる建築設計士や工務店などを紹介	31%
4	改修に関する各種の情報の提供	27%
5	相談窓口の設置	18%
6	気軽に相談できる人を紹介	17%

※複数回答 「その他」の回答を除く

■耐震改修をする場合に負担が可能な額

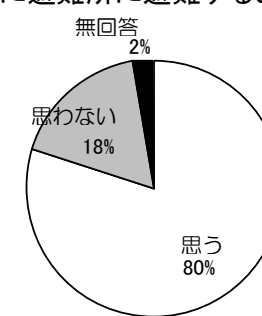
回答	割合
20万円未満	7%
20～50万円未満	14%
50～100万円未満	19%
100～150万円未満	6%
150～200万円未満	9%
200万円以上	8%
負担は難しい	17%
無回答	20%

※2つに○を付けているものが2件ある

「震災時の避難所開設のためのアンケート」

同じく昨年7月に防災協議会が行ったこのアンケートでは、833件のご回答をいただきました。ここでは、その結果の概要をご報告します。

■震災時に避難所に避難すると思いますか



■どんな状況の時に避難すると思いますか（避難すると思うと回答された方）

回答	回答数
家屋が安全でないとき	531
ライフラインが止まったとき	423
余震がひどく、不安なとき	378
食事の用意ができないとき	368
無回答	5

※複数回答

■あなたの家に、高齢者等一人で避難できない人はいますか

